

天龍の子ら

令和7年12月26日 No.11 天龍小学校・天龍中学校

83日間の2学期が終わりました。2学期には、譲葉祭、小中合同音楽会、郡市連合音楽会、昇龍祭など小中合同で行った行事、森林レボリューション、天龍ピカピカ大作戦、おやすしめなわもちつき大会など小中別々に行った行事、三校交流会や三小合同学習など様々な交流学習が行われました。また、地域の方と交流する活動も多く行われました。子どもたちは、それらの活動を通して、様々な方と関わり、触れ合い、教科の学力だけでなく生きる力を育むことができ、大きく成長できたように思います。12月に行われた個人懇談会の中で子どもたちの成長については担任と共有できたことと思います。



明日から1月7日(水)まで冬休みです。年末年始は家族で過ごす時間が増えると思います。冬休み、年末年始ならではの行事が多くあります。家族みんなで楽しい時間が持てるといいですね。楽しむときは楽しみ、やるべきことはしっかりやり、充実した冬休みを願っています。

また、2学期も保護者、地域の皆様のご協力、ご支援のおかげで楽しく、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。学年末となる3学期もよろしくお願いいたします。

人権教育に関わる校長講話

11月～12月にかけて人権教育月間がありました。人権教育については、日常の活動全てにおいて行っていますが、この期間中は特に人権教育を意識し、中学では全校授業を行ったり、小学校では、道徳の授業の中に人権教育の内容を位置付けて行ったりしました。また、この期間中には小中別々に校長講話を行いました。今回は、次に示した「一秒の言葉」(企業CM)を使って、短い言葉だけど、相手をポジティブにもネガティブにもしてしまうから、普段何気なく使っていることを心を込めて大切に使うという気持ちが持てるように小学生にも中学生にも話をしました。

【『一秒の言葉』 作：小泉吉宏】

「はじめまして」この一秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」この一秒ほどの言葉に、勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」この一秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。一所懸命、一秒。



この詩を伝えた後に、友達が喜んだり、うれしくなったりする言葉を考えました。たくさんの温かい言葉を考えていました。そんな言葉がたくさん伝え合える天龍小中学校にさらになってほしいですね。

児童会企画「ニゲテル途中2025」

12月22日(月)に児童会新企画の学校全体鬼ごっこ「ニゲテル途中2025」を行いました。昨年度、子どもたちの「やりたい」から始まった児童会企画です。昨年度と同じように怪盗 DX の挑戦状を受け、ブラッ

クハンターから人類を守る設定で児童生徒全員で行いました。今回は、昨年よりも内容をレベルアップさせ、いくつかのミッションが設定されました。ミッションをクリアしないとハンターが増えていくように考えられていました。昨年と全く同じではなく、工夫を加え今年の6年生らしさを出しているのが素晴らしいなあと感じました。ゲームスタート時は、2体のハンター(五味 T、二之宮 T)が追いかけて、ミッション失敗後は新たにハンター(上野 T、憂さん、野竹 T)3体が放出され、5体のハンターが子どもたちを追いかけてきました。子どもたちは、解放のためのチケットを上手に使い、全員がハンターにつかまることなく、怪盗 DX から学校を守りました。ものすごく盛り上がり、誰もが楽しかったようです。企画した6年生はとても満足し、やりとげた思いがいっぱいという表情が印象的でした。これからも児童生徒の「やりたい」を可能な限り大切にして実現につなげていきたいと思います。



◎子どもたちの安全を守る

12月に薬物乱用防止教室と情報モラル講演会を行いました。中学生と小学校5・6年生が参加して行いました。特に情報モラルについてはすでに子どもたちの身近に危険が迫ってきています。どちらにも共通して言えることは、自分で自分を守る力(判断力、相談する力など)を高めておくことだと思います。そのためには、家庭や学校が子どもたちにとって安心できる場所であることも大切だと思います。



◎インターナショナルデー

12月17日(水)にインターナショナルデーが行われました。保育園の年長、小学生、中学生が参加をしました。この取り組みは天龍グローバルプロジェクトの1つとして AtoZ から4名の先生が来て、英語を使ったゲームなどを通してコミュニケーション能力、英語が好きになることを目指して行いました。本校の ALT ガブリエル先生も参加し、学年に応じてレベルアップした内容で行いました。みんな終始笑顔いっぱいでした。



その他の活動

おやす・しめなわ ・餅つき大会

地域の伝統を体験し、お世話になった方と会食をしました。会食のお餅は、5・6年生が作ったもち米を使いました。



やきいも大会

小中でそれぞれ収穫したサツマイモを使ってやきいも大会をしました。保育園の年長さん、どんぐり向方学園の小学生も一緒にほくほくのやきいも食べたり、交流をしたりしました。



海外とオンライン交流

中学校2年生が台湾の中学生とオンラインで英語の授業を行いました。生徒たちは台湾と日本の文化の違いや学校生活の違いに驚いていました。



南信州駅伝大会に チャレンジ

12月7日(日)に飯田市で行われた南信州駅伝大会に昨年に続き、有志で出場しました。先生&保護者チームも出場しました。



《書き損じハガキ集めへのご協力お願いいたします》

年末といえば年賀状を書く時期かと思えます。(以前に比べると減ってきているようですが)そこで、ユネスコ協会が行っている世界寺子屋支援として書き損じハガキ集めへのご協力をお願いいたします。12枚の未使用のハガキが集まると子ども1人が1ヶ月学校に通って学習ができるそうです。1月30日まで収集をしますので、1枚でもよいので収集へのご協力をお願いします。昔の未使用はがきでも OK です。

**1月8日(木)からみんな笑顔で3学期スタートしよう。
よいお年をお迎えください。2026 年は午年です。**